

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年8月10日(2023.8.10)

【公開番号】特開2022-184117(P2022-184117A)

【公開日】令和4年12月13日(2022.12.13)

【年通号数】公開公報(特許)2022-229

【出願番号】特願2021-91776(P2021-91776)

【国際特許分類】

C 0 8 J 1 1 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

B 0 1 D 1 7 / 0 2 5 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 J 1 1 / 1 0 Z A B

B 0 1 D 1 7 / 0 2 5 5 0 4

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月2日(2023.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルボン酸由来のモノマーにポリエチレンテレフタレートが溶解したPET溶液と、前記ポリエチレンテレフタレート以外の成分である不純物とを含む溶解液が貯留されて、前記溶解液を、重力により前記PET溶液と前記不純物とに分離する貯留部と、

分離された前記不純物を前記貯留部内から排出する排出部と、

分離された前記PET溶液と、ポリエチレンテレフタレートと反応する反応溶媒とが導入されて、前記PET溶液中のポリエチレンテレフタレートを解重合する反応部と、

前記排出部から排出された前記不純物の少なくとも一部を前記溶解液に導入する導入部と

30

を有する、分離システム。

【請求項2】

前記排出部は、前記貯留部内において前記PET溶液よりも下層に分離された前記不純物である第1不純物を排出する第1排出部と、前記PET溶液よりも上層に分離された前記不純物である第2不純物を排出する第2排出部と、を含む、請求項1に記載の分離システム。

【請求項3】

分離された前記PET溶液中に存在する前記不純物である第3不純物を、前記PET溶液から除去する除去部を更に有する、請求項1又は請求項2に記載の分離システム。

40

【請求項4】

ポリエチレンテレフタレートを含むPET原料と、カルボン酸由来のモノマーとが導入されて、前記溶解液を生成する溶解部を更に有し、

前記貯留部は、前記溶解部と接続されて、前記溶解部から前記溶解液が導入される、請求項1から請求項3のいずれか1項に記載の分離システム。

【請求項5】

前記反応溶媒は、メタノールであり、前記カルボン酸由来のモノマーは、テレフタル酸ジメチルである、請求項1から請求項4のいずれか1項に記載の分離システム。

【請求項6】

50

カルボン酸由来のモノマーにポリエチレンテレフタレートが溶解したPET溶液と、前記ポリエチレンテレフタレート以外の成分である不純物とを含む溶解液を、重力により前記PET溶液と前記不純物とに分離するステップと、

分離された前記不純物を排出するステップと、

分離された前記PET溶液と、ポリエチレンテレフタレートと反応する反応溶媒とを反応させて、前記PET溶液中のポリエチレンテレフタレートを解重合するステップと、排出された前記不純物の少なくとも一部を前記溶解液に導入するステップと、

を有する、

分離方法。

10

20

30

40

50